



夢をかなえる

金井さん宇宙へ出発

教育委員会 教育委員

樋田 京子



昨年12月17日に宇宙飛行士の金井宣茂さんが宇宙に飛び立ちました。今ごろは国際宇宙ステーションで、宇宙環境が生物の健康に及ぼす影響や新薬の開発などに関する研究および科学実験に取り組んでおられることでしょう。

ある調査機関によると、子どもが将来就きたい職業として、昨年、宇宙飛行士は小学生では17位、中学生では83位でした。なかなか手が届かないけれど、憧れの職業の一つであり、子どもの夢でもあるようです。憧れが身近に感じられたこのニュースは、子どもたちにとっても朗報であったのではないのでしょうか。

金井さんは記者会見の中で、「自分は臆病な性格で、アグレッシブではない。だから夢をかなえるために一つ一つ用意周到に準備を重ねていった」「厳しい訓練で悔し涙を流すことも多く、そんなときとにかく『寝る』、一晩ぐっ

すり寝ればまた頑張る意欲がわいてくる」と話しています。また、本を読むことが好きで、特に歴史小説や時代物の中から考え方や生き方を学んだそうです。

昨今、夢を持たない子どもやストレスを多く抱える子どもの増加、また、幼児期からの睡眠不足などのさまざまな問題が指摘されています。夢をかなえた金井さんのニュースを通して、物事に臨むときに丁寧な準備と努力を続けること、そして気力や体力を充実させるためにも睡眠を十分にとること、そして多くの本を読むことの大切さを感じたところです。

これから子どもたちは入学や卒業、進級など節目の時期を迎えます。あらためて、新たな環境の中で自分の夢を持ち、その実現に向かって前向きに進んでいけるように支援することの重要性を痛感しました。

中学校ランチサービスの試食会を実施

問い合わせ
学校教育課 (☎内線469)



太宰府中学校での試食会の様子

教育委員会では12月初旬から中旬にかけて、市立4中学校においてランチサービスの試食会を実施しました。各中学校では、来春中学校に入学する小学6年生の保護者や中学生の保護者、普段ランチサービスを注文していない生徒、また一般市民の皆さんも参加しました。

教育委員会として、現在実施しているランチサービスの内容と、中学校給食に関する本市の現状と基本的考え方について説明を行いました。

今後、献立内容の充実や注文方法の改善、生徒・保護者などの意見を取り入れ、喫食率を今以上に向上させていきたいという考えをお伝えしました。

その後、参加者全員でランチサービスの配膳室や各教室での生徒の昼食の様子を見て回った後、ランチサービスを試食しました。

参加された保護者や一般市民の皆さんの感想のほとんどが、「ご飯やおかずが温かくておいしかった」というものでした。

なお、当日参加された皆さんからいただいたアンケート調査の貴重なご意見は、市ホームページで公開する予定です。



学園院中学校での試食会の様子